

2020年 11月 7日

株式会社 GT アソシエーション

FIA-F4 事務局

FIA-F4 選手権 第8戦 決勝上位コメント

■ 第8戦 決勝1位 平良 響【#35 TGR-DC RS トムスピリット F4】



「これで7連勝となりましたが、この第8戦ではあまりペースが思ったよりは悪く、ずっと小川選手に後ろに張り付かれる展開でした。それでも絶対にミスしないように心がけて走ることができましたし、その苦しい中でもミスなく安定したペースで走り切れたことが勝因だったと思います。レース前に、平木選手はもとより澤選手や小川選手がスタートで上がってくることも想定はしていましたので、ミラーで見たときに小川選手が背後に来た時も驚くことなく、冷静に小川選手の走りを踏まえて自分の走りを見直しして対処できました。

タイトルというものも意識しないわけではないですが、明日もうひとつ勝つと8連勝になり、昨年の佐藤選手の記録に並びますので、なんとかそれを狙いたいと思っています。それができれば、自ずとタイトルが近づいてくるという風に考えています」

■ 第8戦 決勝2位 小川 颯太【#77 WARMTECH SkillSpeed】



「やっと初表彰台、となりましたが去年から練習走行などではずっと速さがあったと思いますが、なかなか予選でそのパフォーマンスをしっかりと発揮できず、苦戦していたのですが、今回木～金曜といろいろ試すことができた結果、自分の引き出しも増えたような感覚が。それが予選にうまくつながったかなと思います。このもてぎでは個人的に4大会目になりますが、ここはスタートくらいしか大きなチャンスがないと思っていたので、そこをしっかりと決めて、トップにまでは行けませんでした。2番手まで上がることができてさらに速さも見せることができたことで、チームとしてのマシンのポテンシャルも、自分のパフォーマンスも、最低限ながら発揮はできたのかなと。この調子で明日、またスタートが決まってトップに立てれば逃げ切れる自信はありますが、去年完走率が非常に悪かった中で、今季はここまで完走を続けているので、明日は完走、そして優勝を目指したいですね」

■ 第8戦 決勝3位 平木 玲次【#62 HELM MOTORSPORTS F110】



「またスタートでは今ひとつで、小川選手に前に出られてしまって。1コーナーで小川選手にアウトから入られて、その後ろの澤選手や伊東選手にも仕掛けられる展開となってしまう、そこでちょっとペースが鈍ってしまったことで、1周目に4番手まで下がってしまったのが痛かったです。そこから前を追う体勢にはなりましたが、ペースが思うように上がらず前に着いていくのが精一杯という周回が中盤まで続きました。そこでセーフティカーが入って、リスタート直後に前との差が詰まったところで一気に仕掛けていったん3番手に上がったのですが、そこでインを神選手に取られてしまって。それで4番手のまま変わらずという格好に。結果的にそこで3番手に上がれなかったことで、前の2台を逃してしまいました。明日の第9戦も2番手スタートですが、この2戦、2番グリッドから良いスタートを決められていないので、データを見直しつつエンジニアの方と色々考え直して、なんとか3度目の正直で優勝できるようにしたいですね」

■ 第8戦 インディペンデントカップ 1位 佐藤セルゲイビッチ

【#3 結婚の学校 フィールドモータースポーツ】



「スタートをして1コーナーに入ってしまった時に、いつもだいたい『ここかな』というイメージで位置どりをしますが、今回それがうまく当たって、そこがちょうどスペースが空いていて。それで2コーナーを立ち上がってアクセルを踏んだときには、もう中村選手の後ろにいたので、『あ、全部抜いちゃったな』と思いました。ただ、そこでクラストップに立ったのですが、序盤は前のマシン等にやや抑えられているように感じだったので、それでニュータイヤでスタートしていた齋藤選手に詰め寄られてしまって。それがあって、セーフティカーが明けるときに、意識的に前を少し空けたんです。それで後半は自分のペースで走れるようになり、結果的に後半は危なげなく逃げ切ることができました。今季はここまで3連勝というのがありませんが、明日の第9戦はクラスポールからのスタートですし、今日のようなペースの良さがあれば、クラッシュやアクシデントに巻き込まれないように気をつけさえすれば、3連勝できるのでは、と期待しています」